

粒子の流動化・分散を利用した粉体製品開発に関するワークショップ

代表者： 静岡大学大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 立元 雄治

期 間： 2013 年 4 月 1 日～2014 年 12 月 31 日

目 的： 粉体の単位操作（なかでも流動化および分散技術）を主とする研究者と粉体の機能評価や製品開発を主とした研究者が分野を超えて情報交換、意見交換を行う場を提供し、研究者間のジョイントによる製品開発への展開を目指している。

主催行事：

1. 研究発表会（2013 年 9 月 25 日，ホテルリステル浜名湖会議室）  
研究発表 9 件，参加者 28 名
2. 研究発表会（2014 年 9 月 30 日，八勝園湯元館会議室）  
研究発表 9 件，参加者 23 名

共催行事：

1. 2013 年度中部談話会 研究・技術交流会（2013 年 9 月 24 日，フロイント産業株式会社）
2. 2014 年度中部談話会 研究・技術交流会  
（2014 年 9 月 29 日，株式会社ヤマセ，新興窯業株式会社）

その他：

1. 2014 年度粉体工学会秋期研究発表会  
シンポジウム「粉体ハンドリング技術の進歩と産業界への展開」への参画
2. ワークショップ構成員間の交流

主催したワークショップ研究発表会では，ワークショップの主旨の通り，粉体の単位操作を主とする研究者と製品開発を主とした研究者とが入り混じり，それぞれの立場での議論がなされ，非常に有意義な会となった。

製品開発という点では企業の研究者の参画が望ましいが，これについては，中部談話会の研究交流会と共催し，企業への見学および企業の研究者から講演いただいた。

全体として，研究者間のジョイントによる製品開発というところまでは今のところ進んでいないが，研究者間の交流を深めることができた。